

事務事業名		固定資産家屋特定調査事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	資産税課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	土地家屋係	担当課長名	櫻井 彰	
	施策	2 持続可能な財政運営の推進					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	1 市税の収納率の維持・向上					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2830	一般	2	2	2	固定資産家屋特定調査事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	26年度～27年度		根拠法令 条例等	地方税法 佐野市税条例		実施方法		一部委託	
							事業分類		賦課・収納事務		
							リーディングプロジェクト		該当なし		
								市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)				平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
平成25年度に撮影した航空写真データを基に、個々の土地に対する家屋形状図を作成し、その家屋図形に課税データをリンクさせ、GIS上に家屋図データベースを作成する。 H26 家屋形状図作成 H27 家屋特定調査				航空写真データを基に、家屋の形状図を作成した。 ・平成26年6月 指名競争入札により業務委託契約締結 佐野市国土基本図等修正業務委託 82,576,800円(都市計画課分 64,605,600円、資産税課分 17,971,200円)						
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
家屋形状図作成		棟		137,369						
家屋特定調査		棟			86,427					
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
固定資産課税客体 納税義務者				対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
				家屋棟数	棟		83,740	83,667		
				家屋に関する納税義務者	人		43,745	43,848		
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
課税客体(家屋)を正確に把握するとともに、課税事務の効率化を図り、賦課期日の所有者に固定資産税・都市計画税を適正に賦課する。				成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
				固定資産税調定額(現年分)	千円		7,812,162	7,432,337		
				都市計画税調定額(現年分)	千円		1,183,726	1,124,633		
				家屋に関する審査申出数	件		0	0		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
十分に歳入が確保されている。				上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
				収納率(現年度課税分)	%		98.9	98.5		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円			17,972		15,500					
	事業費計(A)	千円		0	17,972		15,500		0			0
事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
				委託料	17,972	委託料	15,500					
人件費	正規職員従事人数	人		3		6						
	のべ業務時間	時間		60		1,440						
	人件費計(B)	千円	0	236		5,675		0			0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	18,208		21,175		0			0	

事務事業名	固定資産家屋特定調査事業	担当部	総合政策部	担当課	資産税課	担当係	土地家屋係
-------	--------------	-----	-------	-----	------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成8年に旧佐野市で地番家屋図を作成したが、合併後、佐野市全体のものは作成していないため、課税家屋の位置の特定は、家屋台帳や航空写真、住宅地図、所有者情報等から現況把握しており、かなりの労力が掛かっている。GIS上で所在地管理ができれば事務量の軽減につながる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	GISを活用し、電算上で家屋の所在地を把握することで、賦課漏れ家屋の把握及び減失漏れ家屋の把握、課税に対する説明の迅速化や家屋台帳類の電算管理による省スペース化など、利点が多いことから、今後このような流れは加速する。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	納税者から、家屋の所在、配置に関する問い合わせが多い。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	新規事業により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市税収入の約5割を占める固定資産税・都市計画税を適正に賦課することは、歳入の確保に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	年に1回の実地調査が地方税法に定められており、それを補完するための事業を実施することは行政の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	課税客体(家屋)を正確に把握し、賦課期日の所有者に固定資産税・都市計画税を適正に賦課することは、歳入の確保に結びつく。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	地方税法に定められた、年に1回の実地調査を補完するものであり、現状を維持する。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は業務委託料であり、削減はできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	地方税法に定められた、年に1回の実地調査を補完するものであり、受益者負担はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
本事業により既存の家屋図のデータベース化が完了すると、今後は新增築家屋の追加・減失家屋の削除等のデータ更新を行う必要があるため、事業の規模は縮小するものの継続しなければならない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					